

船舶事故調査報告書

平成22年7月22日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成21年12月8日 06時35分ごろ
発生場所	長崎県長崎市香焼島南方ネタギ瀬 肥前黒瀬灯台から真方位158°3,000m付近 (概位 北緯32°39.6′ 東経129°47.5′)
事故調査の経過	平成21年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 新子丸、5トン未満 292-25161長崎、個人所有 10.92m (Lr) × 2.62m × 0.81m、FRP ディーゼル機関、176.52kW、昭和59年10月
乗組員等に関する情報	船長 男性 69歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成5年3月11日 免許証交付日 平成20年2月21日 (平成25年3月10日まで有効)
死傷者等	負傷 2人（船長及び同乗者） 船長は頭部打撲を負い、同乗者は腹部を打撲し外傷性十二指腸穿孔と診断された。
損傷	船首先端下部及び船底左舷側角破損、推進器翼曲損、舵柱曲損、舵機室にき裂
事故の経過	本船は、船長ほか1人が乗船し、香焼島南方沖を約16ノットの速力で手動操舵により南進中、船長が、同乗者と会話をしながら左舷方の釣り船を見ていたところ、平成21年12月8日（火）06時35分ごろ、ネタギ瀬に乗り揚げた。 船長は、同乗者と2人で本船を離礁させ漂流している間に、知り合いの造船所と家族に連絡をして、来援した造船所の船で長崎港にえい航され、船長は家族の車で病院に行き、同乗者は救急車で病院に搬送された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風速 約1～2m/s、視界 良好 海象：潮汐 低潮時 日出：07時10分
その他の事項	船長は、事故発生場所付近を約10年間において、毎月1～3回航行し、浅瀬が多いのでGPSプロッター画面に表示された過去の航跡上を走るようにしていたが、GPSプロッターに記録された本事故当時の航跡

	は、過去の航跡から徐々に左方に外れてネタギ瀬に至っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、夜間、香焼島南方沖を南進中、船長が同乗者と会話をしながら左舷方の釣り船を見ていて操船に意識を集中していなかったため、意図せずに左舵をとった状態となり、ネタギ瀬に向かって航行し、同瀬に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、香焼島南方沖を南進中、船長が同乗者と会話をしながら左舷方の釣り船を見ていて操船に意識を集中していなかったため、ネタギ瀬に向かって航行し、同瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	